【作り方説明書】

Vネックスリットワンピースの型紙

■詳細対応サイズ ・58cm ソフビ　L(L 寄は非奨励) (スマド未確認)	■難易度 イージー/【ノーマル】/ハード/ハード↑/エクストラ
■サンプル使用生地の厚み 0.25mm	■用意するもの ・薄手～やや薄手生地 ・薄手の生地(裏地用) ・面ファスナー
■手縫い可否 OK	■注意事項 フロントが大きく開いている為、DDL 普通胸以外では着せられない場合があります。
■布に書き写すパーツリスト ①前身頃　１枚→そのまま１枚 ②前見返し　１枚→　　〃 ③④前脇　２枚→左右反転して２枚 ⑤⑥後見返し　２枚→　　〃 ⑦持ち出し　１枚→そのまま１枚 ⑧⑨後身頃　２枚→左右反転して２枚 合計：9 枚　のパーツで構成	

■必要な布量参考数値

01. 型紙を貼り合わせる

① 型紙に割り振られている番号を確認する。

番号は型紙の左上に記載。

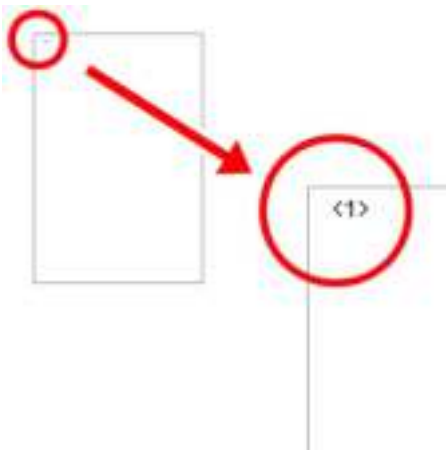
※①～④の右図は全型紙共通で 使用しています。

型紙の種類によって貼り合わせる 枚数、

数字は違います。

枚数、貼り合わせ数字については

各型紙をご覧ください。

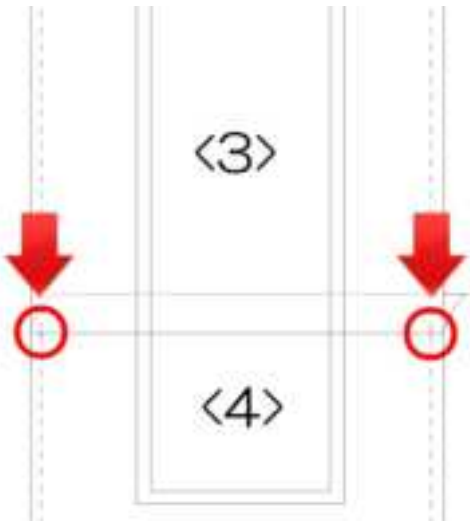


② <1>の型紙に記載されている通りに型紙を並べる。

「青色の数字の型紙貼り合わせる」という箇所に記載。

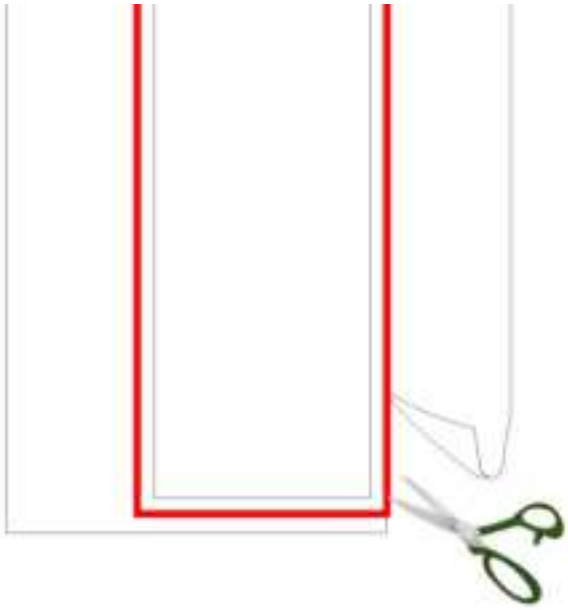
③ 点線に沿って、型紙が繋がる方だけカットする。

④　<5>の上部のガイドに③の下部を合わせて、
表裏両方をテープで留める。



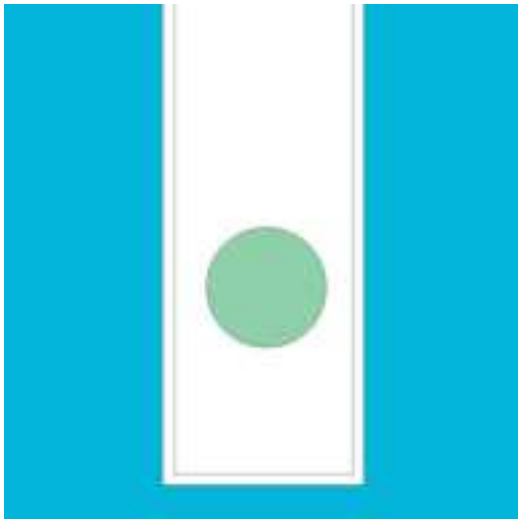
02. 型紙を切り取る。

02～07 の右図は全型紙共通で使用
しています。



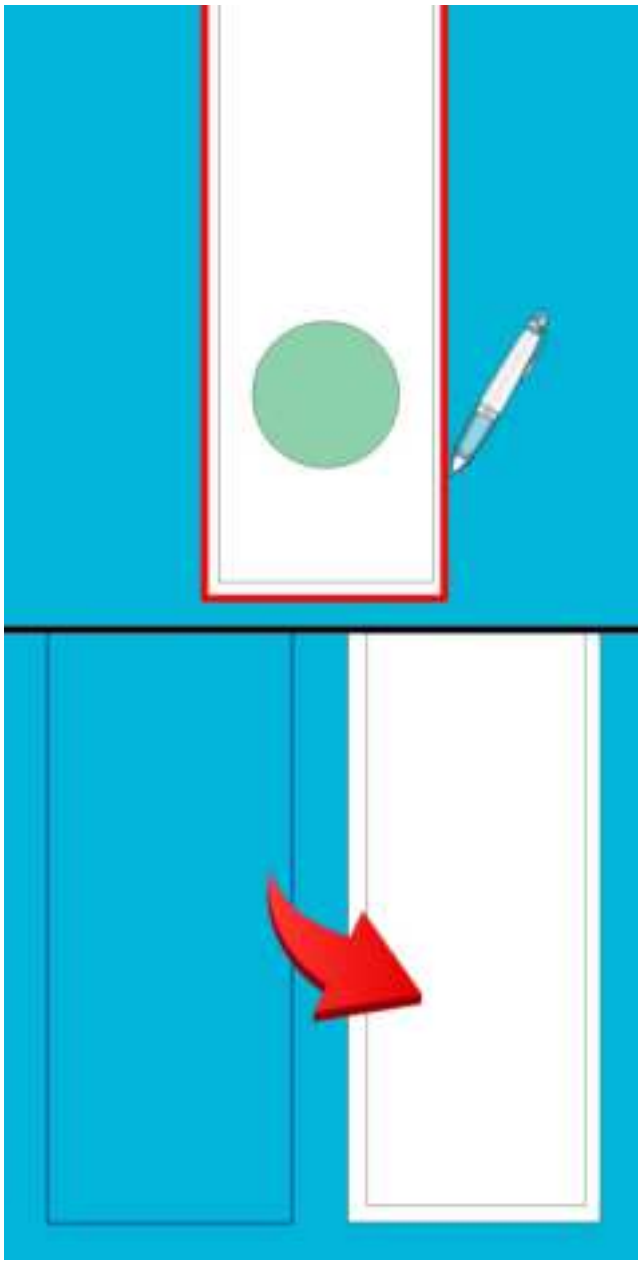
03. 布を裏にして型紙を置く。

まち針で留めず、ペーパーウェイト等で型紙が動
かない様にする。

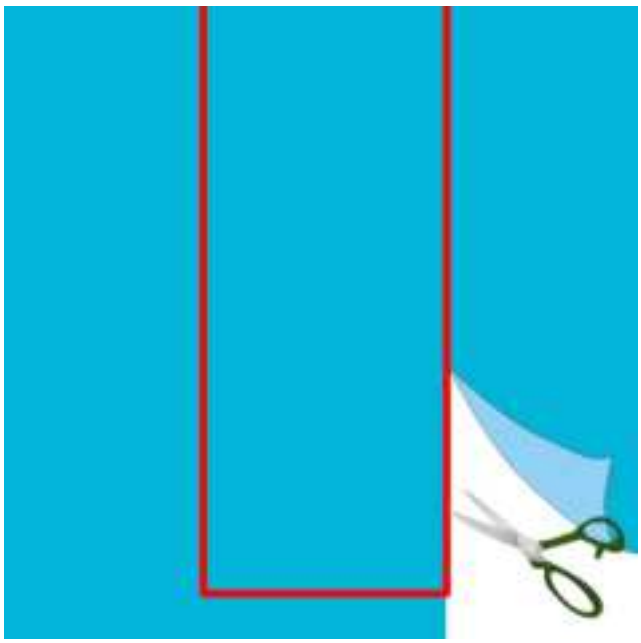


04. 型紙の外側をなぞって布に写す。写したら型紙は一旦避ける。

（※オススメのチャコペン
・カリスマシャープペンシル(使用中)
・クロバー　水性チャコペン）

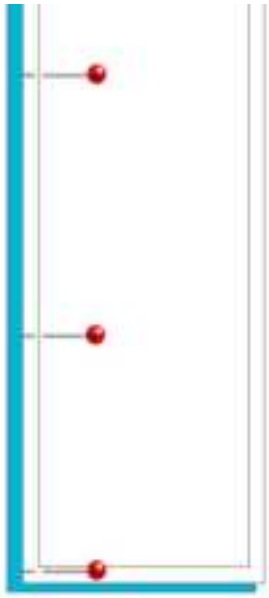


05. 04 で写した線に沿って布を切る。



06. 切り取った布に型紙をのせてまち針でとめる。

型紙と布がずれない様にするだけなので、
細かくとめる必要はない。



07.“切りじつけ”をする。(①～⑧)

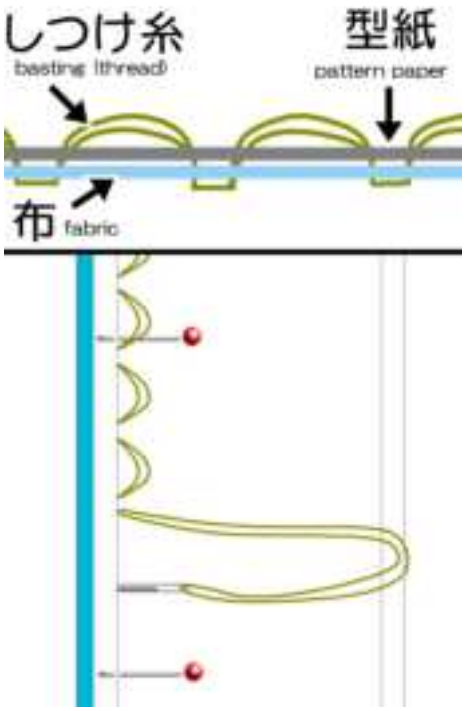
① しつけ糸を針に通し、糸が２本になる様にする。
「玉止めはしない。

② 紙の上から出来上がり線に針を刺していく。

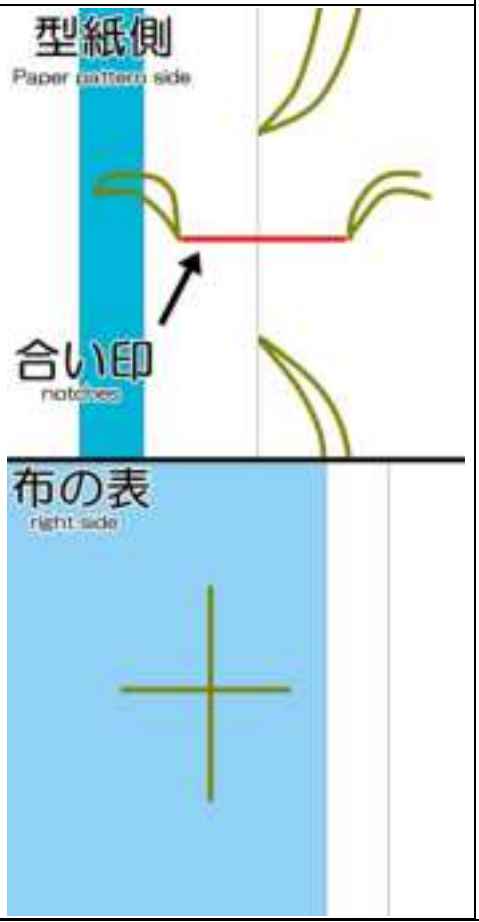
A. 型紙から刺す
B. 布を刺す
C. 0.3cm 程度すくうように縫う
D. 型紙を刺す
E. 糸をたるませつつ 1.5cm 程度空けて再度型紙を刺す

A～E を繰り返す。

「上側はたるませて、下側の糸はたるませない。
全ての線を写す必要はないので、細かく針を刺さなくても良い。



③ 角や合い印は下側(布側)から見て
+ に見えるように針を刺す。



④ 上側のたるませた糸を切る。

⑤ まち針を抜く。

⑥ 糸を抜かない様に型紙だけを抜き取る。

⑦ 長い糸は 3mm 程度に切る。

糸を抜き取らない様に注意。

⑧ しつけ糸が抜けない様に、アイロンか指で糸を寝かせる。

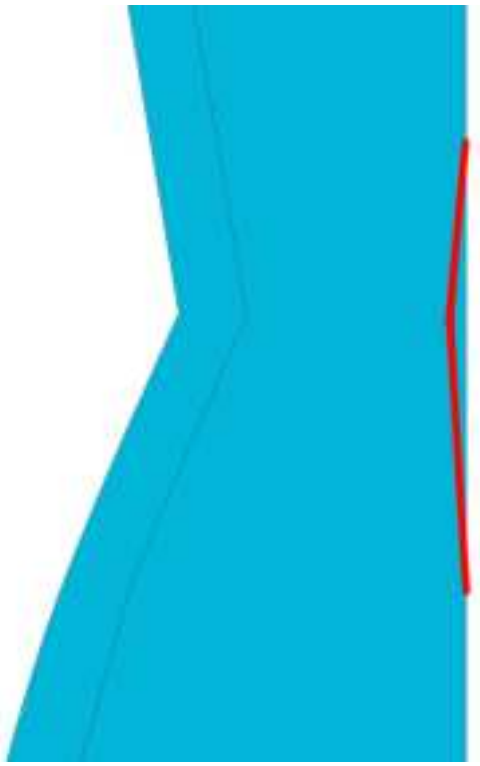
08. 後身頃×2 枚のダーツを縫う。

表が内側になる様に、ダーツの中心で折る。

もう 1 枚も同じように折る。

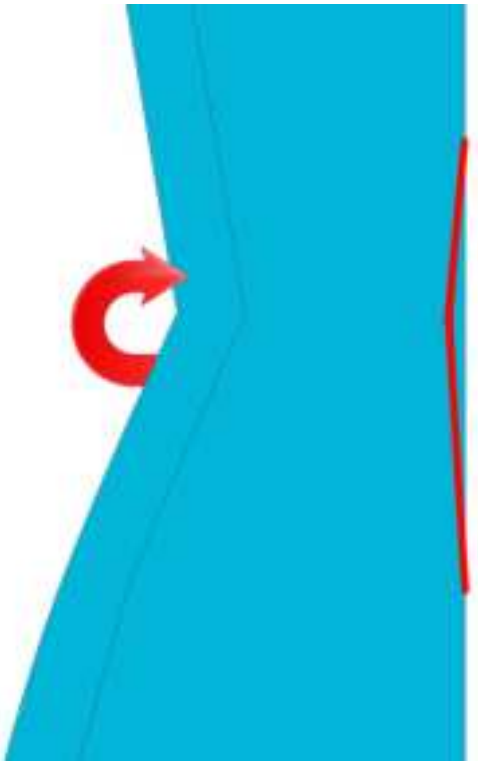
斜めになっている線を縫う。

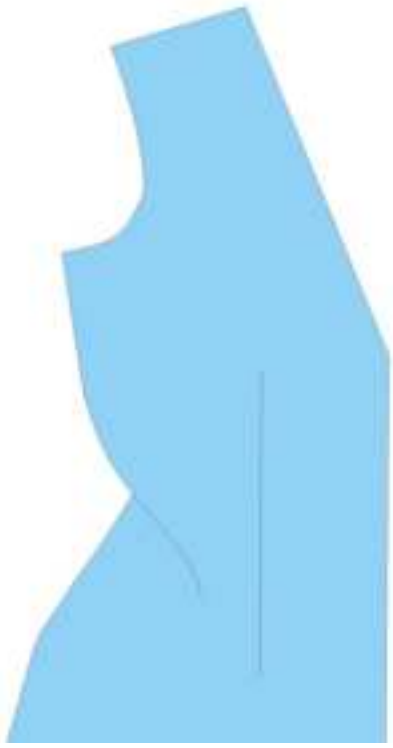
もう 1 枚も同じように縫う。



縫ったところを中心に開く。

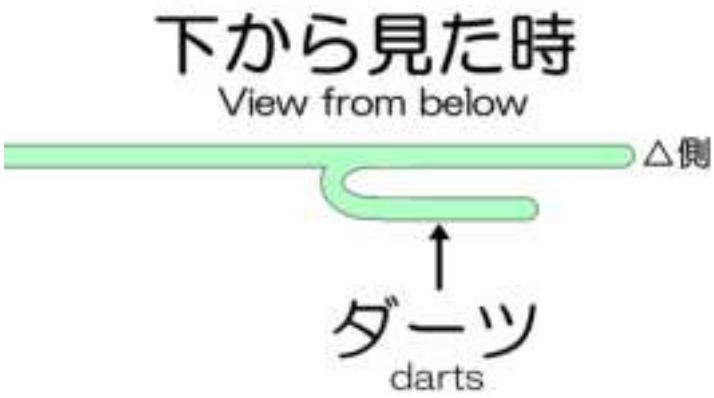
もう 1 枚も同じように開く。



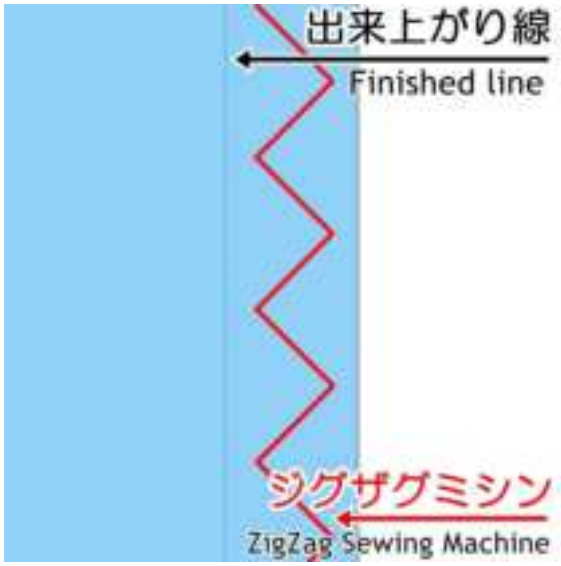


09. 縫ったところのしつけ糸を抜く。
　しつけ糸が取り辛い時は、糸抜きや毛抜き等で抜く。
　以降、縫ったら余分なしつけ糸はその都度抜いていく。

10. ダーツは　△側　へ倒してアイロンをかける。
　もう 1 枚も同じようにアイロンをかける。

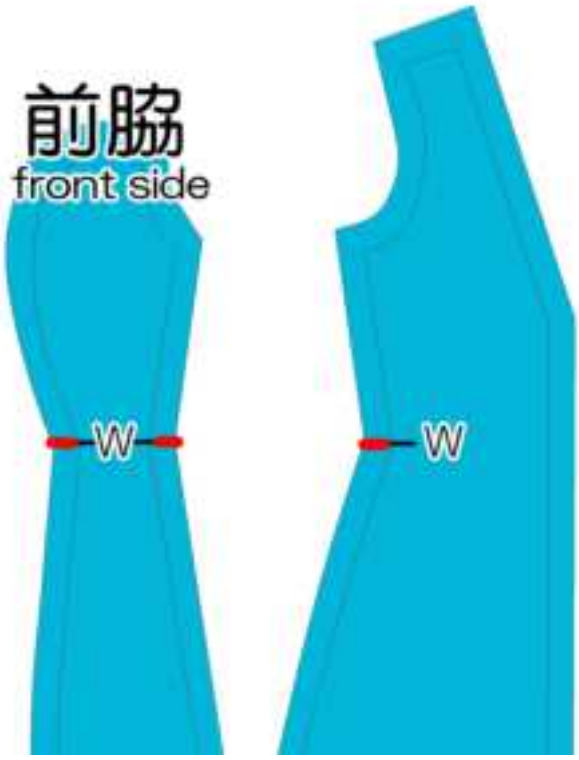


11. 前見返し、後見返し×2 の裾にロックミシンか、
家庭用ミシンのジグザグで縫う。

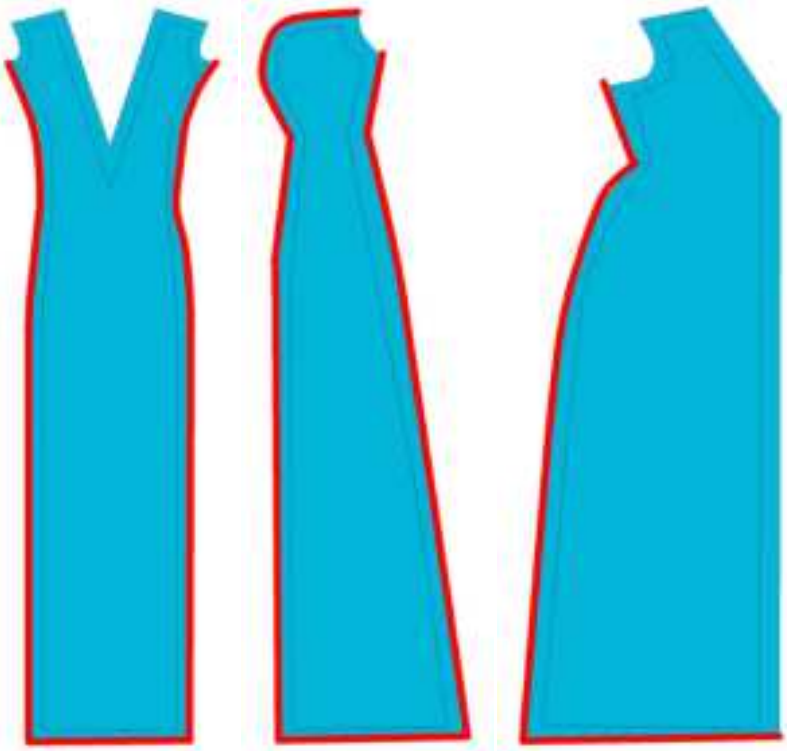


12. 前身頃のカーブとウエストに切り込みを入れる。

13. 前脇×2、後身頃×2 のウエストに切り込みを入れる。

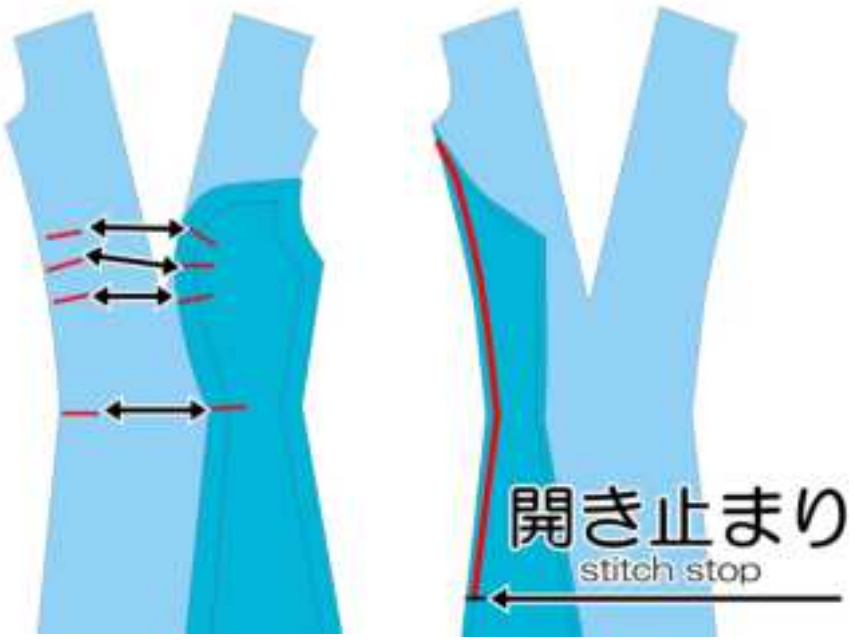


14. 前身頃、前脇×2、後身頃×2 の縫い代にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。



15. 前身頃と脇の W、三 を、目印に表が内側になる様に合わせて、
開き止まりまで縫う。

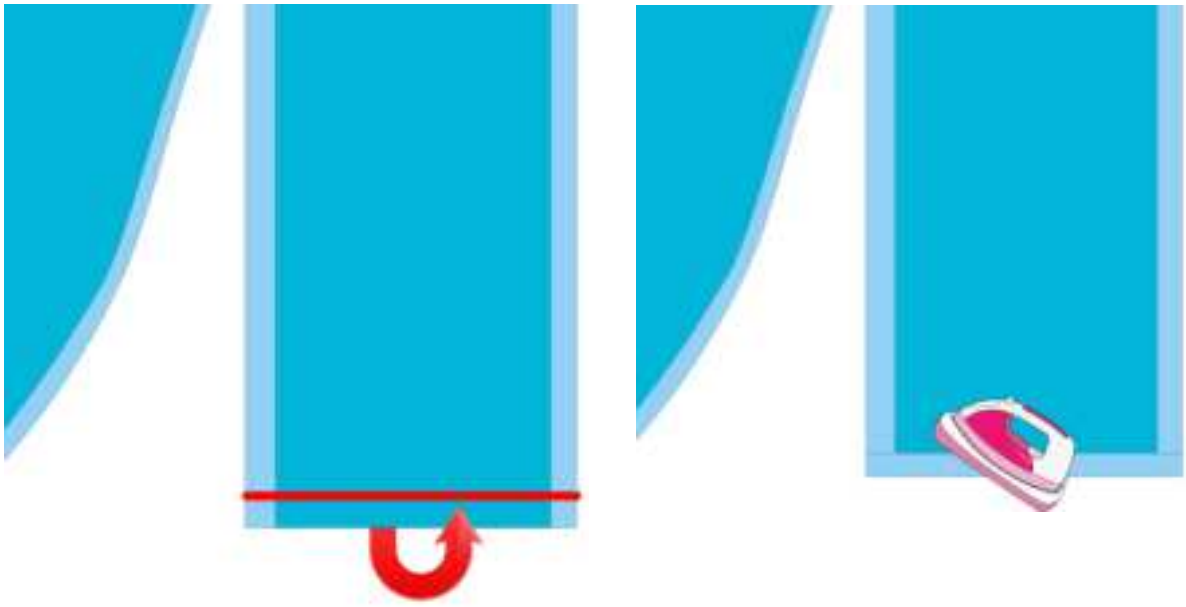
〔 反対側も同じように縫う。



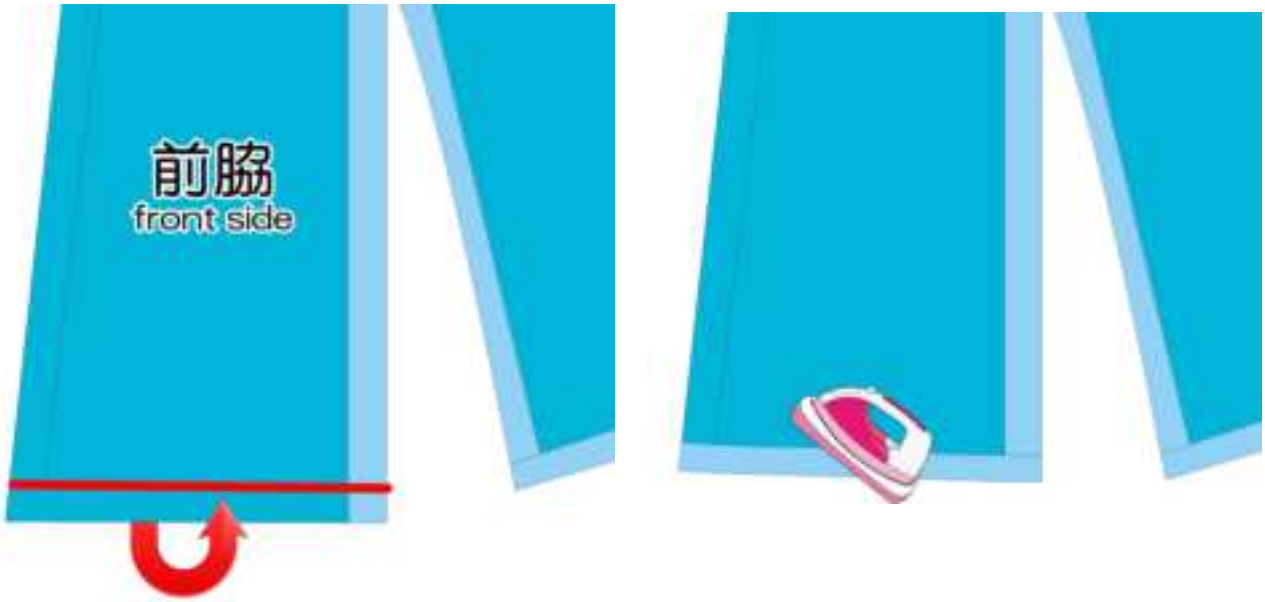
16. 縫い代を開いて、アイロンをかける。

〔 反対側も同じようにアイロンをかける。
開き止まりから下も、
出来上がり線で折ってアイロンをかける。

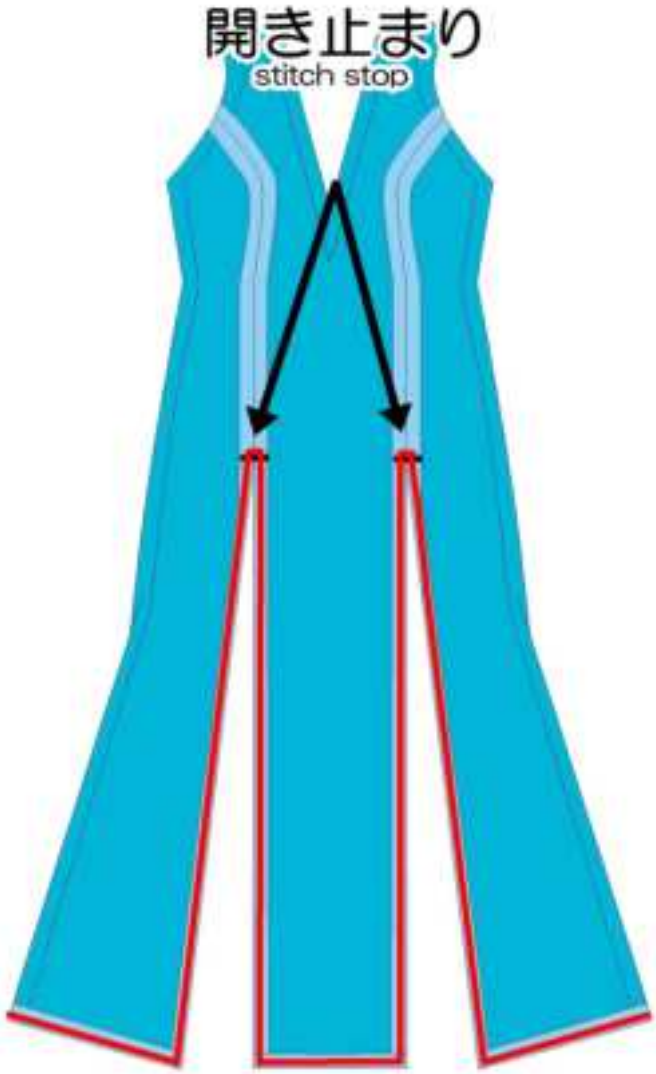
17. 前身頃の裾を折ってアイロンをかける。



18. 前脇×2 の裾を折ってアイロンをかける。

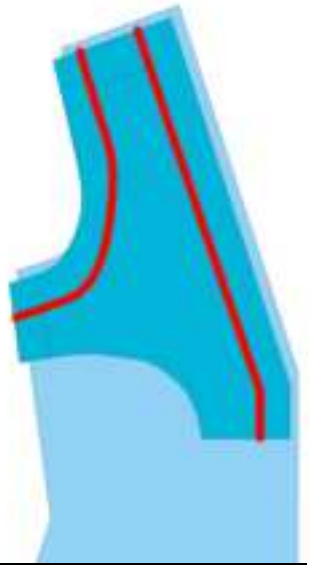


19. 前身頃、前脇の　開き止まりから下　を縫う。



20. 表が内側になる様に、前身頃　と　前見返し　を合わせて縫う。

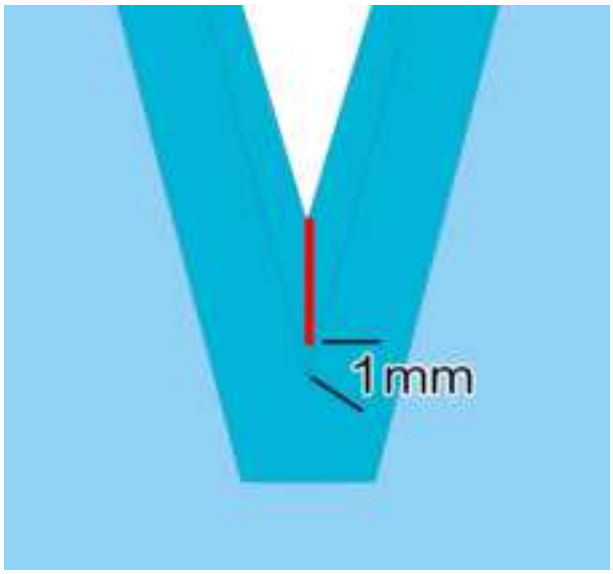
21. 表が内側になる様に、後身頃　と　後見返しを合わせて縫う。
　〔もう 1 枚も同じように縫う。



22. 前身頃の襟の縫い代を　3mm　程度にカットする。

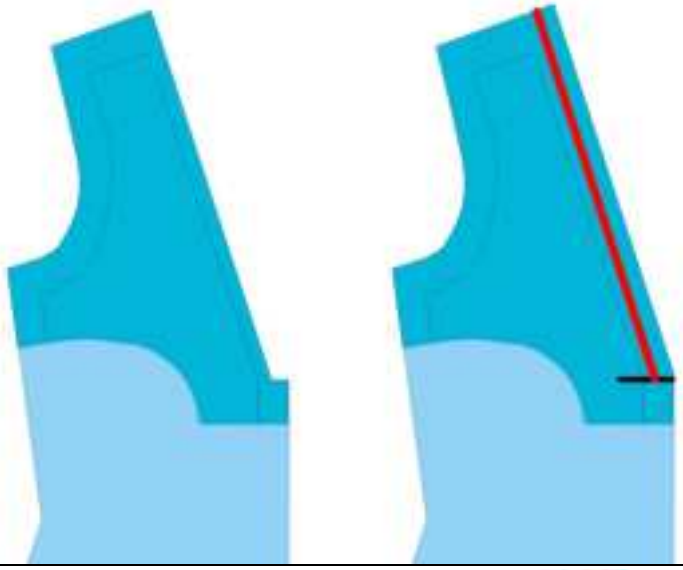
この状態で一度表にひっくり返して、矢印の所が引きつっていないか確認する。

引きつっている場合は、裏に戻して矢印の所を縫い代から 1mm 程度までカットする。
注意：この作業を行うと**生地によっては解れてしまう**ので、
事前に要らない布で確認をしてください。
解れない場合でも心配な場合は、
縫い代に解れ止め液を少量使用してください。

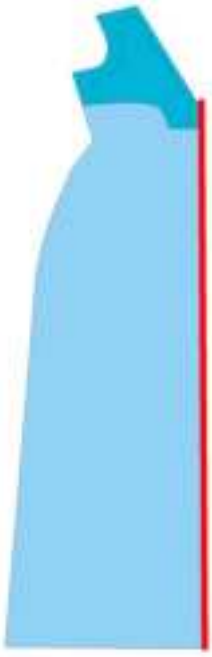


23. 後身頃×2 の　☆　に切り込みを入れる。

24. 後身頃×2 の肩から☆までの縫い代を　3mm　程度にカットする。



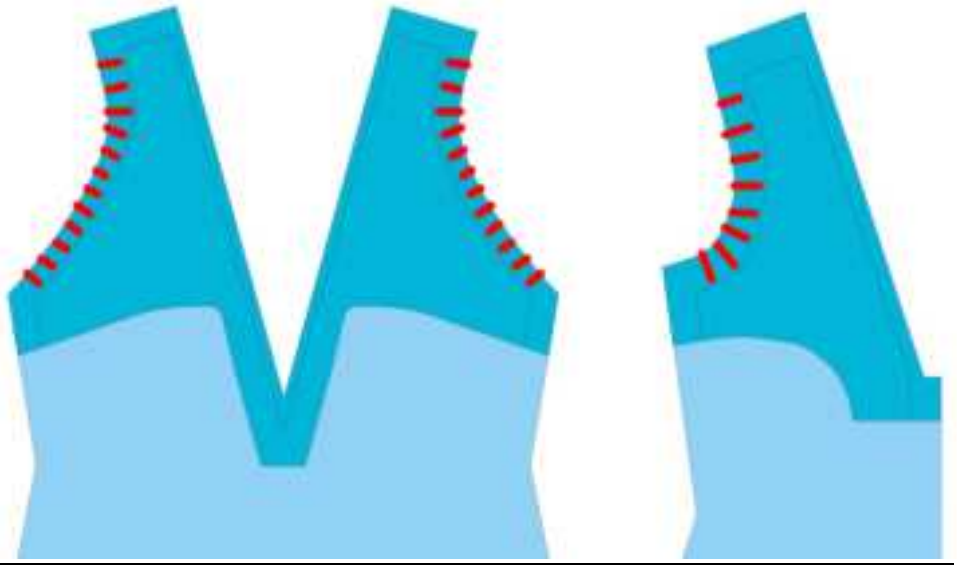
25. 後身頃×2 の　後ろ中心　の縫い代にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。



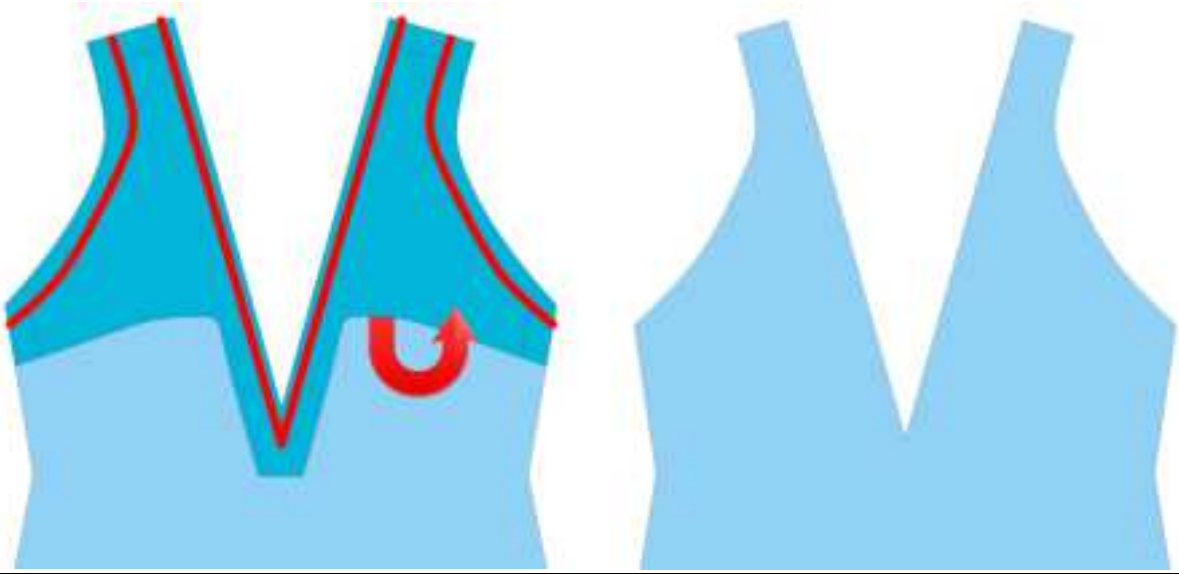
26. 前身頃と後身頃×2 の袖ぐりのカーブに切り込みを入れる。

袖ぐり：袖を付ける為の身頃側のカーブ

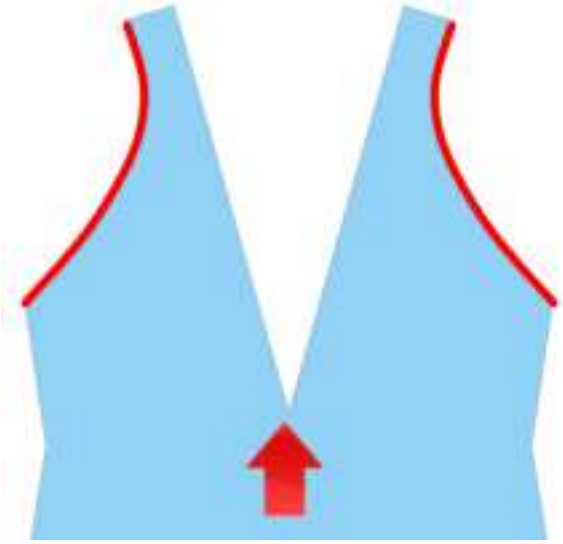
*この型紙に袖パーツはありません。



27. 前見返しをひっくり返す。



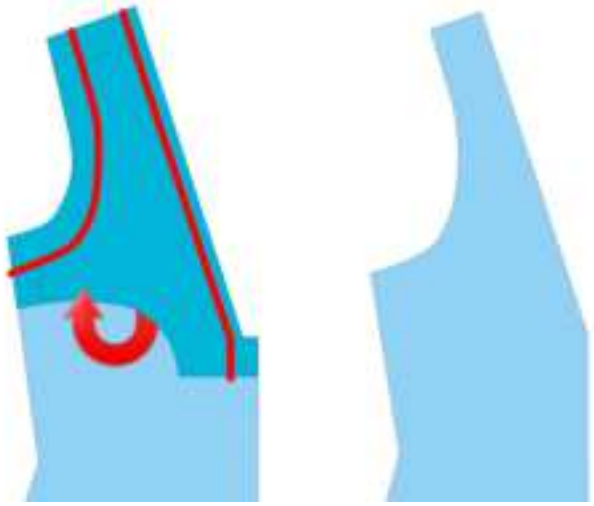
28. 矢印の箇所や袖ぐりを整える。



29. 襟の縁　と　袖の縁　を縫う。

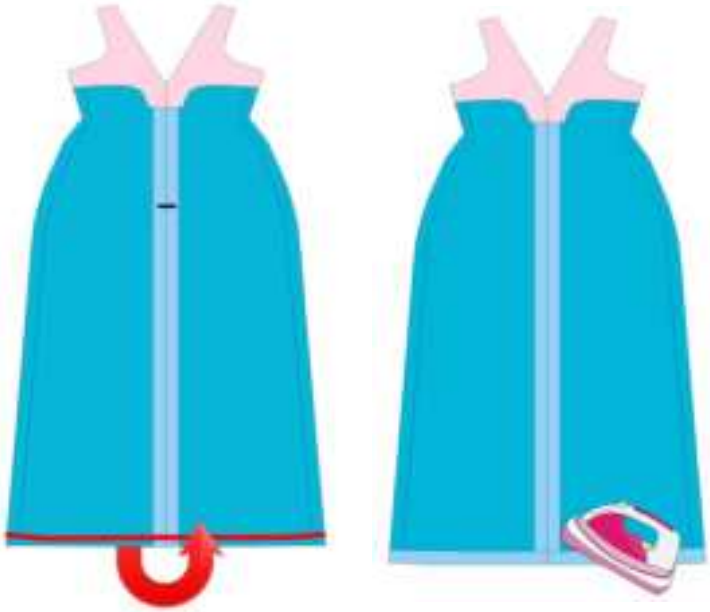
30. 表が内側になる様に後身頃を合わせ、開き止まりから下を縫う。

31. 後見返しをひっくり返す。
    [もう片方も同じようにひっくり返す。



32. 後身頃中心(△の印がある側)を開いて、アイロンをかける。

33. 裾を出来上がり線で折ってアイロンをかける。



34. 縁を縫う。

35. 表が内側になる様に、持ち出しを中心で折る。

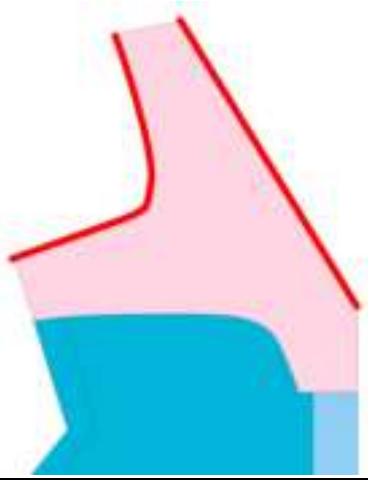
36. 両端を縫う。

37. 表に返す。

38. アイロンをかける。

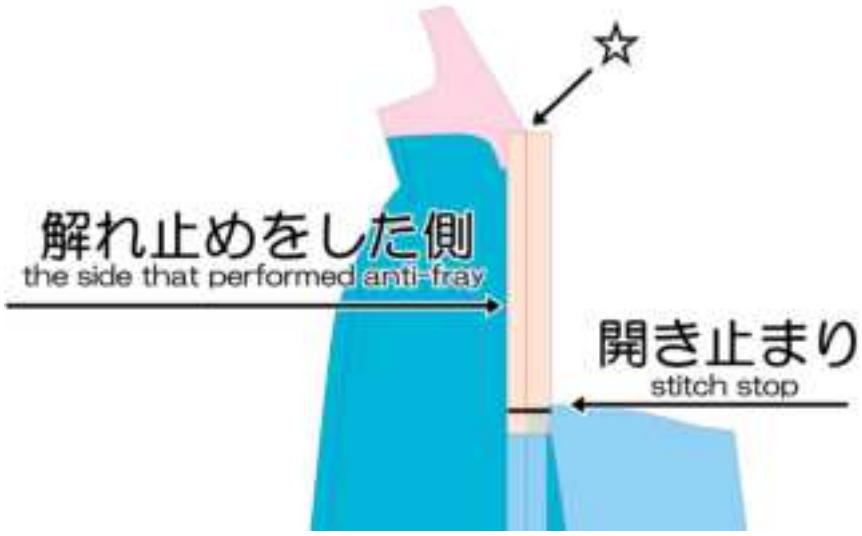
39. 持ち出しの　開いている方　の縫い代に、
ロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。

40. 後身頃の襟と袖ぐりを整える。

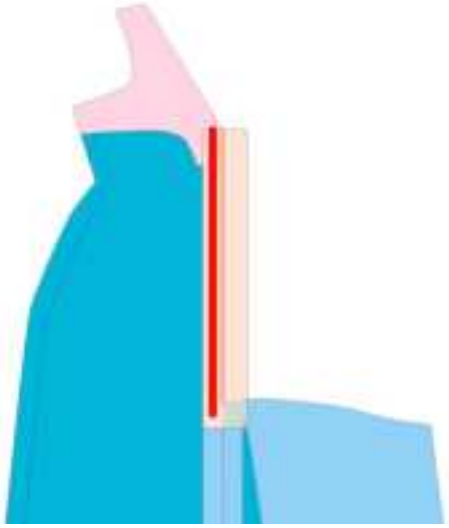


41. 後身頃の　☆　から　開き止まり　に持ち出しを合わせる。

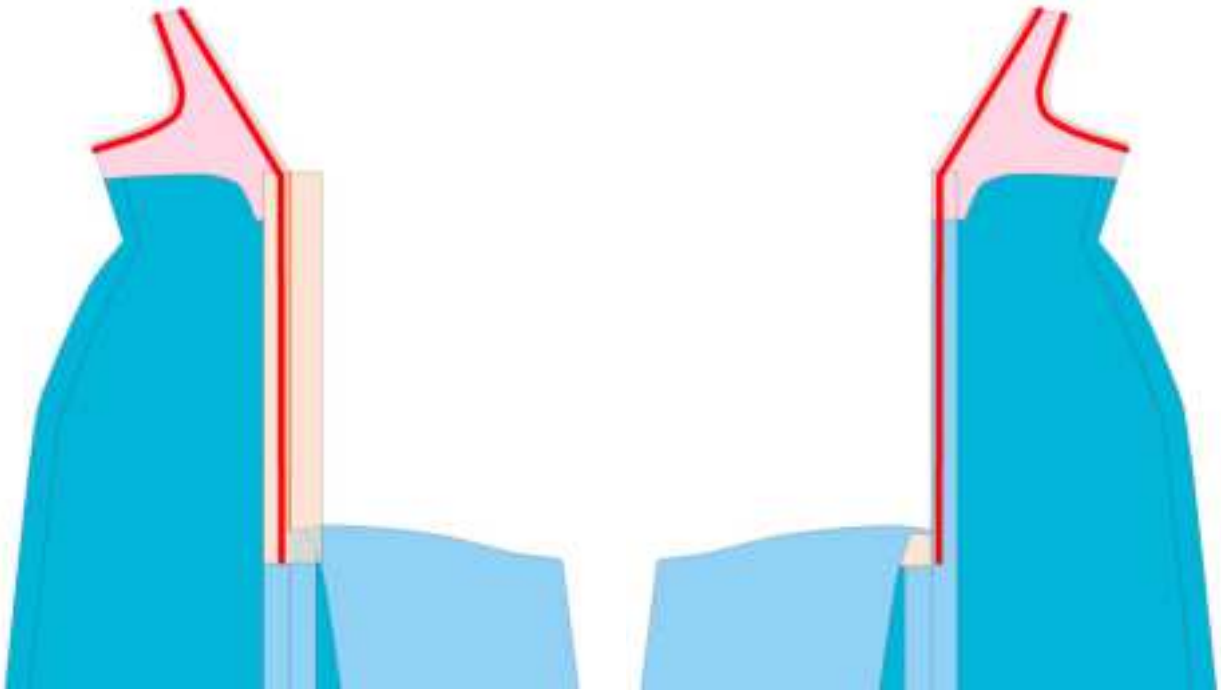
裏側から見て左の後身頃に持ち出しを合わせる。
解れ止めをした方を身頃側にする。
右の後身頃は避ける。



42. 後身頃と持ち出しを仮縫いする。



43. 袖の縁　と　襟から開き止まり　までの縁　を縫う。



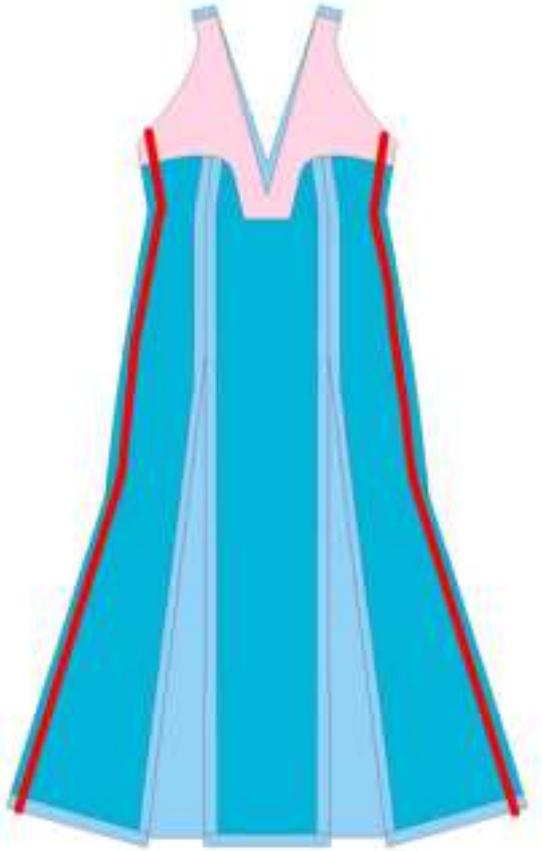
44. 持ち出しのしつけ糸を抜く。

45. 前身頃、後身頃の　肩　の縫い代にロックミシンか、家庭用ミシンのジグザグで縫う。

46. 表が内側になる様に、前身頃と後身頃を合わせて肩を縫う。

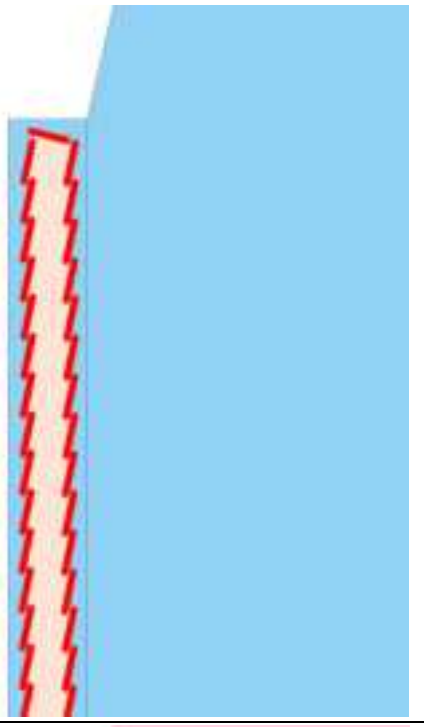
47. 縫い代を開いてアイロンをかける。

48. 表が内側になる様に、前身頃と後身頃を合わせて脇を縫う。

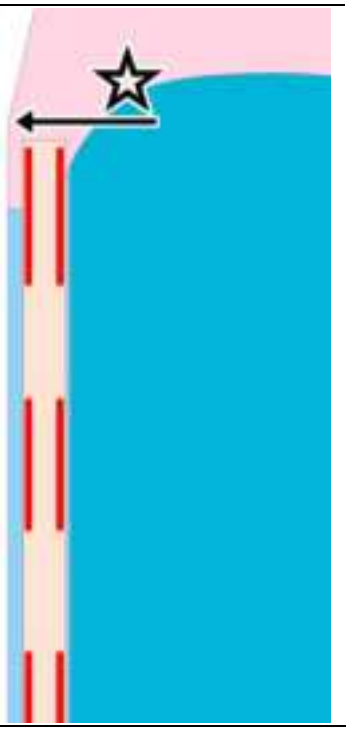


49. 持ち出しに、面ファスナーをしつけ糸で仮縫いする。

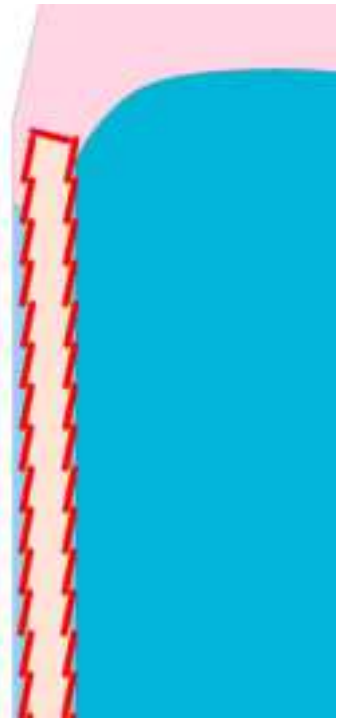
50. 49　で仮縫いした面ファスナーの周りを、まつり縫いで付ける。



51. 後身頃左側の縫い代に、面ファスナーをまつり縫いで付ける。
　〔 ☆　から下に面ファスナーを付ける。



52. 51　で仮縫いした面ファスナーの周りをまつり縫いで付ける。



お疲れ様でした！